

三ノ岳から歩いて八年間

大塚 シズエ(山田)

私は大正四年に長谷尋常高等小学校に入學しました。兄がいましたので、入學式のあの日は親はついてこなかったように思います。

私は三ノ岳生まれですから、四キロの坂道を毎日通學しました。朝は下りですから三十分もかかりませんが、帰りは胸をつく坂道を一時間以上もかけて帰ったものです。

校舎は総二階で、正面は玄関で上ったところに教員室があり、東西に教室があり、二階中央は補習科、東西に高等科と五・六年の教室がありました。式の時ほ階下の教室の戸板をはずして使っていました。校舎の裏には農作業実習地があり、高学年になるといろいろな野菜などを作っていました。

担任の先生は、一年の時が足立六平先生、二年幸新作先生、三年佐藤シズエ先生、四年は同じく佐藤先生、五・六年が甲斐久生先生、高一伊東学先生、高二後藤信人先生、補習科高山先生、農業は木本富太郎先生でした。

あの頃は、先生の言われることは神様の言葉

のように信じ、実行したものでした。私は勉強が大好きで、どの先生からも可愛いがられ、八年間皆勤で通し、数々の賞をいただき、今も大切に使っております。その蔭には、親は勿論のこと、たくさんの方々のお蔭様でした。特に足が痛くて、黒松山の伊東幸男さんのお宅に泊まらせていただいて大変お世話になり深く感謝申しあげています。

雪の時は、足袋にわらじ、雨降りにはハダシ、お天気の時は藁草履をはいて通學。小さい時は父が作ってくれましたが、高学年になると自分で作ってはいっていました。

遊びは、学校ではお手玉と廻旋塔、高学年ではテニスをしました。体操の時は低学年では着物のまま、高学年になると袴を股にして使っていたものです。運動用具といえば、平均台・飛び箱・肋木などでした。

高等科の時は一・二年生と一緒に勉強し、科目は地理・歴史・理科三科目が一緒に、他の科目は別々でした。補習科では教室不足のため、

役場の隣りの二宮さん宅で勉強しました。補習科の時の暑中休みに、大野郡中の学校から二人ずつ集めて、三重東女学校で、一週間いろいろな勉強をしたことをおぼえています。

あの頃は電灯がなかったので、ランプの下で両親の夜なべ仕事のそばで、箱を台にして一つあかりのもとで勉強したものでした。

高学年になると、学校からの帰りが一人になることが多く、暗い夜道を、自分の足音にびつくりしてはさびしい思いで一杯。力いっぱい走って帰ったこともありましたが、今思い起してみますと、それもこれも皆なつかしい思い出ばかりでございます。

ご恩を受けた諸先生方も今は殆んど生存されていないと思います。謹んでお礼を申しあげます。

長谷に生まれ、長谷で育てられ、八十年間を過してまいりました。感謝の念で一杯であります。母校のますます発展しますことを願っています。